

生物学的 日本人のルーツ

校長 山中 泉

An ancestor of Japanese.



後期の始業式の話の中で、Y染色体からの日本人のルーツを探る話をしました。放課後掃除に来た生徒が、「今日の話は非常に興味がありました」と話した後、「けれどもすべてが解明されると、何かロマンがなくなってしまう悲しさがある」とも言ってくれました。高校生らしい素直な感想であると感じました。

今世紀の初め大きな話題になったヒトゲノムプロジェクトは、人の染色体のDNAを構成する合計60億文字を読みとることであり、そのことによって、ヒトのもつすべての遺伝子情報、すなわちヒトの体をつくる設計図の全体像を明らかにするという壮大な試みでした。そして、2003年4月、我々人類の全遺伝子情報が解読され公開されました。その中の、Y染色体を解読したことにより日本人の祖先の旅路が判明されてきたのです。

I 現生人類が間違いなくアフリカで起源したことを立証している。
II ユーラシア大陸東部では、民族の存亡を賭けた凄まじい戦争の歴史が、DNA地図を大幅に塗り替えたが、日本列島ではそのような事態は現出しなかった。
III 大陸の混雑で難民化した人々が、日本列島に渡来したことでDNAの多様化が進む一方、渡来人も先住の人々も共に平和共存の道を選んだため、多様なDNA集団が日本列島に残ることになった。

このように、日本人は単一民族などではなく世界に冠たる多様性に富む集団であることが証明されています。領土問題に揺れている今日的課題の解決の糸口を与えてくれるように見えます。



白嶺祭

翔

かける

特集 SSH スーパーサイエンスハイスクール

ついに本格始動!! 南アルプス発!! 伝統と最先端の出会い、そして未来へ。 巨摩高 SSH (スーパーサイエンスハイスクール)

- 5月12日 第1回SSリテラシー「宇宙線で宇宙を探る」
山梨大学工学部機械工学科 本田 建 教授
- 5月26日 第2回SSリテラシー「森と水のつながり」
山梨大学生命環境学部環境科学科 西田 継 准教授
- 6月 2日 第3回SSリテラシー「有機エレクトロニクス」
山梨大学工学部電気電子工学科 小野島 紀夫 准教授
- 6月 9日 第4回SSリテラシー「スパコンはどうして速い？」
山梨大学工学部コンピュータ理工学科 鈴木 智博 准教授
- 6月23日 第5回SSリテラシー「光ファイバーを用いたセンサ技術」
山梨大学工学部情報メカトロニクス工学科 森澤 正之 准教授
- 6月29日 SSレクチャー(特別講演会)
筑波大学下田臨海実験センター長 稲葉 一男氏
- 7月11日 SSガイダンス「平行二輪車セグウェイで体感するロボット制御の基礎」
日本工業大学 佐藤 杉弥 准教授
- 7月12日 SS生物出前授業「食物からエネルギーを得るしくみ」
千葉科学大学 佐々木 啓子 教授
- 7月25日 SSH筑波研修(1泊2日)
- 8月 6日 SSH筑波大学下田臨海実験センター研修(1泊2日)
- 8月 7日 SSH生徒研究発表大会(横浜 ~9日)
- 10月17日 SSレクチャー(特別講演会)
東京工業大学世界文明センターフェロー 桜井 進氏
- 10月23日 SS物理「地震に関連した電磁気現象」
東京電機大学 五島 幸文 教授



SSリテラシー
「高大連携講座」レポート
受講した生徒たちは、
こんなふうに感じました。

人類はもっと
発展できると思っ!!
大学で研究してみたい!!

●第1回
「宇宙線で宇宙を探る」
受講生徒数●40名(SHクラス34名)
宇宙線というものを初めて知ったが、このエネルギーを他のことに使えば、人類はもっと発展できると思う。(女子)

●第2回
「森と水のつながり」
受講生徒数●22名(SHクラス16名)
山梨はとても自然に恵まれ幸せだと思つた。環境については知らないことが多いのでこれから研究していきたいと思つた。(男子)

●第3回
「有機エレクトロニクス」
受講生徒数●27名(SHクラス20名)
半導体については興味があったので楽しかった。休み時間の話が面白く、すごく興味があった。(女子)

●第4回
「スパコンはどうして速い？」
受講生徒数●27名(SHクラス20名)
コンピュータの基本的な構造やスパコンの重要性がわかった。これからはニュースを見るときにも、この知識が応用できると思う。(男子)

●第5回
「光ファイバーを用いたセンサ技術」
受講生徒数●26名(SHクラス21名)
光がなぜ屈折や散乱をするのか不思議に思つた。大学で研究してみたい。(男子)

